

天候不順により、果実の肥大や成熟が平年及び前年より遅れています。  
着色の進み具合や糖度を確認し、収穫しましょう！

### 令和元年 11 月の気象

令和元年 11 月の半旬別の気象を表 1 に示した。平均気温は第 3～第 5 半旬は平年よりも高く推移し、第 6 半旬は平年よりも低く推移した。月平均気温は 13.7℃で、平年より 0.5℃、前年より 0.3℃低かった。

降水量は第 3～第 6 半旬は平年より多く、特に、第 5 半旬は 158mm と平年の一か月分の雨が降った。月合計は 252mm で平年の 170%、昨年の 156%であった。

日照時間は第 1～第 4 半旬は平年より多く、第 5、第 6 半旬は平年よりも少なかった。月合計は 142 時間で平年の 98%、前年の 105%であった。

表 1 令和元年 11 月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	15.5	15.4	14.5	0	25	33	35	25	17
2	14.8	14.6	17.6	0	34	13	33	25	14
3	15.4	14.0	14.1	33	18	24	27	24	26
4	14.7	12.3	12.9	34	23	5	36	24	21
5	14.1	11.7	10.9	158	22	71	12	24	27
6	7.8	11.2	13.7	28	26	16	0	25	30
平均/計	13.7	13.2	14.0	252	148	162	142	145	135

## 2 果実及び樹の生育

12 月 3 日現在の果実生育状況を表 2 に示した。「大津 4 号」及び「青島温州」の横径は 3 地区の平均で見るとそれぞれ 7.7cm、6.9cm であった。「大津 4 号」は平年より 3%大きく、前年より 3%小さかった。「青島温州」は平年より 7%、前年より 10%小さかった。

「大津 4 号」及び「青島温州」の縦径は、3 地区の平均で見るとそれぞれ 4.7cm であった。「大津 4 号」は平年より 6%、前年より 8%小さかった。「青島温州」は平年及び前年より 6%小さかった。

「大津 4 号」及び「青島温州」の果形指数は、3 地区の平均で見るとそれぞれ 1.7、1.5 であった。平年及び前年と同程度であった。

表2 果実の生育（令和元年12月3日）

品 種	調査地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
大津4号	三芳地区	6.7	7.4	8.2	4.7	5.1	5.6	1.4	1.5	1.5
	千倉地区	8.3	7.5	7.5	4.7	4.8	4.6	1.8	1.6	1.6
	暖地園研	8.1	7.7	8.0	4.6	5.2	5.1	1.8	1.5	1.6
	平 均	7.7	7.5	7.9	4.7	5.0	5.1	1.7	1.5	1.6
青島温州	三芳地区	6.6	7.4	8.1	4.7	5.1	5.5	1.4	1.5	1.5
	千倉地区	6.9	7.3	6.9	4.8	4.9	4.4	1.4	1.5	1.6
	暖地園研	7.3	7.6	8.0	4.7	5.1	5.1	1.6	1.5	1.6
	平 均	6.9	7.4	7.7	4.7	5.0	5.0	1.5	1.5	1.6

各地点の各品種の値は40果の平均 ただし、鳥害、落果、台風害により調査果実を変更した樹がある  
果形指数は、横径／縦径

### 普通温州の果実品質

12月3日現在の果実品質を表3に示した。

着色は、「大津4号」及び「青島温州」の3地区の平均で見るとそれぞれ6.9、6.1であった。全ての調査地において平年及び前年より着色の遅れがみられた。

糖度は、「大津4号」及び「青島温州」の3地区の平均で見るとそれぞれ9.2、8.6であった。全ての調査地において平年及び前年より低かった。

酸度は、「大津4号」及び「青島温州」の3地区の平均で見るとそれぞれ0.82、0.83であった。全ての調査地において平年より低く、前年より高かった。

甘味比は、「大津4号」及び「青島温州」の3地区の平均で見るとそれぞれ11.4、10.4であった。平年と同程度で、前年より低かった。

果肉歩合は、「大津4号」及び「青島温州」の3地区の平均で見るとそれぞれ76.5、74.9であった。平年及び前年と同程度であった。

本年度は10月及び11月の降水量が多く、平均気温は高かったため成熟が遅れている。そのため着色が遅く、糖度は低い。酸味は、平年より低く、前年より高い。現時点での食味はやや不良なので、果実の成熟を確認して収穫すること。浮皮は散見される程度であった。

表3 普通温州「大津4号」及び「青島温州」の果実品質（令和元年12月3日）

品 種	調査地	着色程度 (0~10)			糖 度 (%)			酸 度 (%)			甘味比			果肉歩合 (%)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
大津4号	三芳地区	6.7	8.0	9.9	9.5	10.1	11.0	0.83	0.85	0.69	11.6	12.0	15.9	77.0	75.5	77.9
	千倉地区	6.7	8.6	9.8	8.9	10.2	9.9	0.85	0.94	0.82	10.6	11.0	12.1	76.5	75.7	75.3
	暖地園研	7.4	7.9	9.5	9.3	10.1	10.1	0.77	0.88	0.70	12.0	11.6	14.3	75.9	75.0	76.4
	平 均	6.9	8.2	9.7	9.2	10.1	10.3	0.82	0.89	0.74	11.4	11.6	14.1	76.5	75.4	76.5
青島温州	三芳地区	5.6	7.4	9.5	8.4	9.1	9.6	0.86	0.92	0.74	9.9	10.1	13.1	75.9	74.4	74.8
	千倉地区	6.8	8.1	9.3	8.6	9.8	9.5	0.85	0.93	0.69	10.2	10.7	13.7	73.1	74.3	74.9
	暖地園研	5.9	7.6	8.5	8.8	9.6	9.3	0.79	0.89	0.78	11.1	10.9	12.0	75.7	75.4	74.8
	平 均	6.1	7.7	9.1	8.6	9.5	9.5	0.83	0.91	0.73	10.4	10.6	12.9	74.9	74.7	74.9

平年値は平成11~30年の平均値

甘味比=糖度/酸度

果肉歩合=果肉重/1果重×100

## 12月～3月の栽培管理

### (1) 普通温州の収穫・予措

品質をそろえるため、また着色後に発生する浮皮を防止するため8分着色以上の果実から順次収穫していく。収穫時のハサミ傷や落果は収穫果実の腐敗の大きな要因となるため、果実はていねいに扱う。収穫直後の果実は果皮の水分が多いのでコンテナに果実を7分目ほど入れ、風通しのいい日陰に2～3日置く出荷予措を行うと、果皮がしなやかになり、選果や出荷時の傷果の発生予防になる。

### (2) 病害虫の防除

ミカンハダニやカイガラムシが多い園では、収穫後にマシン油乳剤(97%)の60～80倍液を用いて防除する。厳寒期を避け、晴天が続く暖かい日に実施する。また、樹勢の弱い樹や台風の影響で著しく落葉した樹では、散布を見合わせる。

青かび病・緑かび病の予防にはベフラン液剤25(2000倍液)\*を散布する。

※早生温州等、収穫の早い品種については農薬の使用から収穫までの日数に注意をする。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

### (3) 防寒対策

気象情報に注意し、適切な防寒・低温対策をとる。樹体を強い寒風から守るため、防風垣や防風ネットを設置する。斜面下部など冷気のたまりやすい場所の防風垣は下枝を切り冷気を逃がす。

また、果実は寒害で食味が低下するため、収穫適期を迎えた果実は寒さを受ける前に収穫する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>